

「0」から生まれる都市の余白

—代々木公園に提案する、自然と共生するパブリックスペース—



千葉工業大学 創造工学部建築学科

坂口弘成 安藤嵩紘

目次

1. 四則演算

2. 設計趣旨

3. 敷地の設定

4. 人・建築・自然の「 $+$ 」 $-$ 」 \times 」 \div 」

5. 建築の要素



1.四則演算

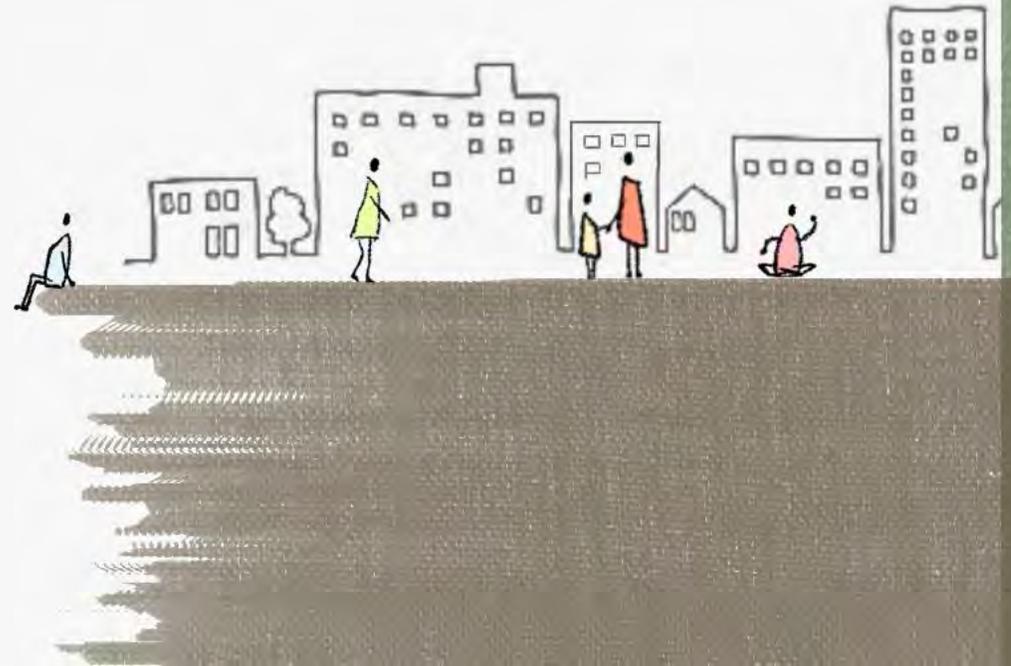
都市には、人が「佇む場所」が足りない

現状

- ◇繰り返される四則演算
- ◇均質化された建築
- ◇生産性、利便性の追求
- ◇人と空間の関わりが希薄になっている

提案

- ◇「0」に立ち返る
- ◇新たな四則演算を始める
- ◇人と空間の豊かな関わりを再構築する



2.設計趣旨

「0 = グラウンドレベル」とする

◇一般的に建築は地形の上に築かれるもの



◇地形の操作により、「0」を空間に取り入れる

◇地上と地下の境界面にできる空間

3.敷地の設定

敷地は都立代々木公園

◇都市の中で「佇む」という機能を備えた場所

◇自由に過ごす余白がある



地形を下げ空間を作る。自由曲線からなる階段。



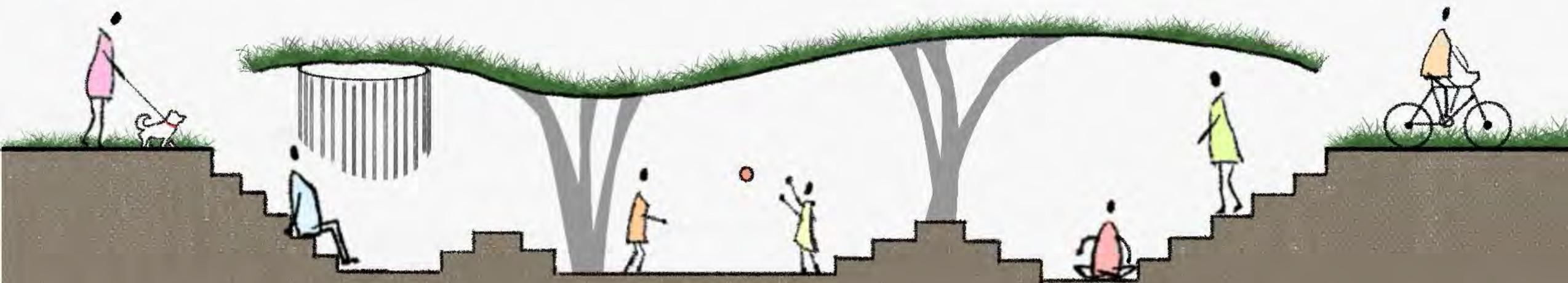
内部の階段により居場所が増える。間に通路や広場が生まれる。



柱とルーバーで緩やかに空間を区切り、居場所を作る。

4.人・建築・自然の「 $+$ 」 $-$ 」 \times 」 \div 」

- | | | |
|----------------|------------|-----------------------|
| $+$ (足し算) | 関係性を生み出す | 「人 + 人」 「自然 + 建築」 |
| $-$ (引き算) | 都市の喧騒を和らげる | 「人工物 - 境界」 |
| \times (掛け算) | 多様性が掛け合わさる | 「時間 \times 体験」 |
| \div (割り算) | 空間を分け合う | 「1つの空間 \div 多様な使い方」 |



5.建築の要素

並木道から見える建築



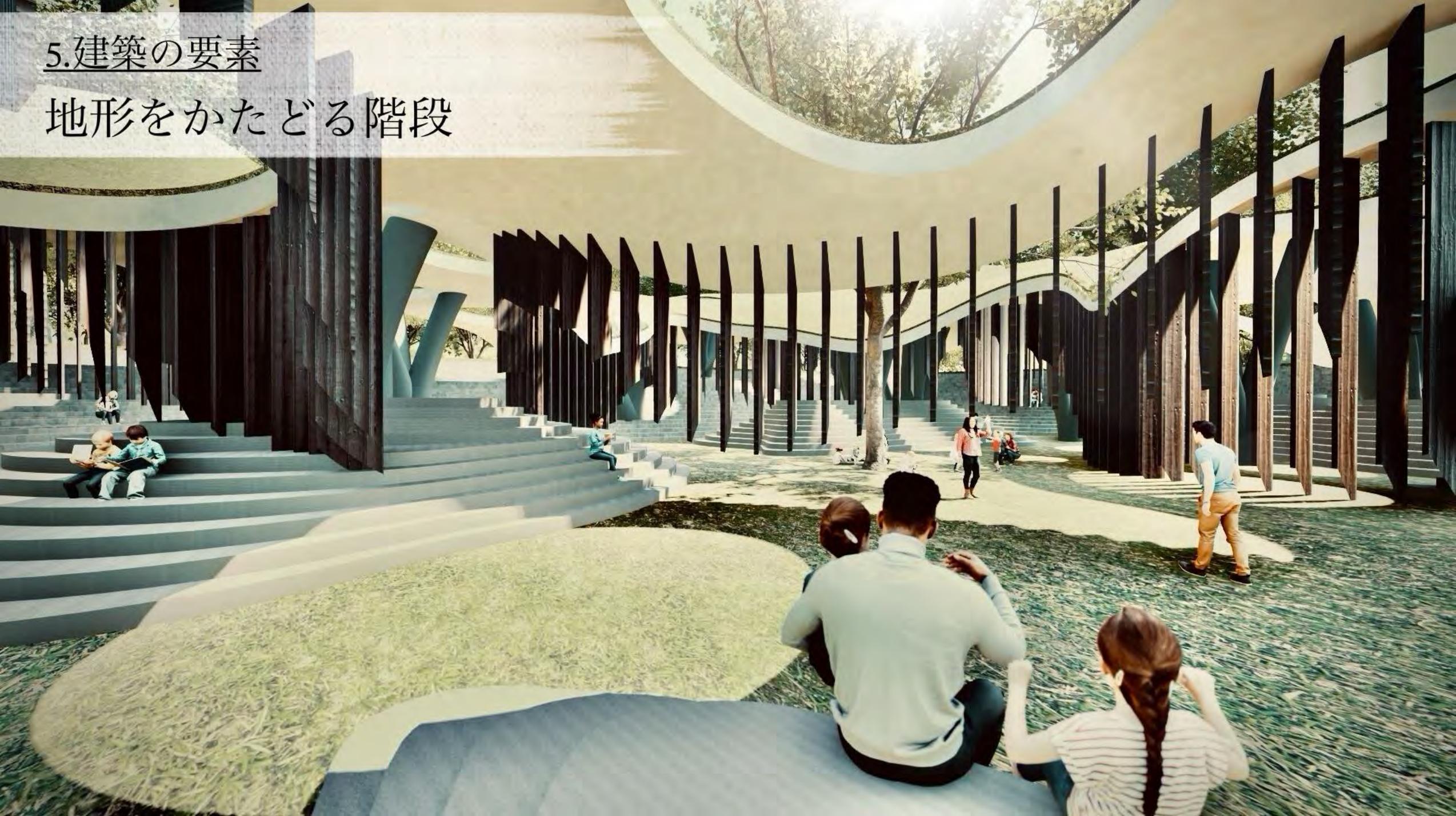
5.建築の要素

木漏れ日をデザインしたルーバー



5. 建築の要素

地形をかたどる階段



5. 建築の要素

周辺環境との融合

